

進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	経営戦略研究科・経営戦略専攻
大項目	4 教員組織
中項目	
小項目	4.0.1 教員組織
要素	<p>教育課程における専任の教員を必要と認められる数を任用しているか。</p> <p>教員組織の構成において、「教育研究上の目的」の達成のために必要と認められる授業科目に必要かつ十分な専任の教授又は准教授を任用しているか。</p> <p>教員組織の構成において、「教育研究上の目的」の達成のために必要と認められる実務家教員を任用しているか。</p> <p>教員組織の構成において、「教育研究上の目的」の達成のために必要と認められる専任の教員と非専任の教員との割合に配慮しているか。</p> <p>教員組織の構成において、教員の年齢構成の割合、男性・女性教員の比率及び外国人教員の任用等教員の多様性に配慮しているか。</p> <p>、開講授業科目について高度の教育上の指導能力があると認められる下記の各号に該当する専任の教員を、専攻ごとに「文部科学大臣が別に定める数」(平成15年文部科学省告示第53号第1条。以下同じ。)を置いているか。</p> <p>1) 専攻分野について、教育上又は研究上の業績を有する者</p> <p>2) 専攻分野について、高度の技術・技能を有する者</p> <p>3) 専攻分野について、特に優れた知識及び経験を有する者</p>
小項目	4.0.2 教員の資格
要素	<p>教員の任用及び昇任に関する規則及び基準を定めているか。</p> <p>教員の任用及び昇任に関する審査プロセスを明確に定め、客観的な審査をしているか。</p> <p>最近5年間の教育研究業績等により教員の教育上の指導能力を評価する組織的な取組をしているか。</p> <p>専任教員の最近5年間の教育研究業績の資料を開示しているか。</p> <p>実務家教員の実務経験について定期的に評価を行い、授業科目担当の割り当てを適切に行っているか。</p>
小項目	4.0.3 教員に対する教育研究支援
要素	<p>教員の教育研究活動の推進と教員の授業担当時間数との関係について、適切な範囲内にとどめるように配慮しているか。</p> <p>教員の教育研究活動の推進に必要な研究費獲得の支援体制を整備しているか。</p> <p>教員の教育研究活動の推進に必要な事務職員及び技術職員等の支援体制を整備しているか。</p> <p>教員の教育研究活動の推進に必要な教育課程の活性化を図る適切な措置を講じているか。</p>
小項目	4.0.4 教員の任務
要素	<p>教員は、自己点検評価及び学生の授業評価の結果に基づいて、授業の内容、使用教材及び授業方法等の改善を絶えず行っているか。</p> <p>教員は、学習目標の達成のために、先端的な高度専門的知識や技能の教授に努めているか。</p> <p>教員は、学習目標の達成のために、オフィスアワーの設定及び電子媒体等を通じて学生との対話を積極的に図り、学生の学習指導に努めているか。</p>

II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

【現状の説明】

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
1. Improve the educational standard by activating the FD activities. FD活動の活発化による教育水準の向上	→Improve FD activities. (Number of guest speakers and times for inviting them) FD活動の充実(回数及びゲスト・スピーカーの人数)	B
2. Further improvements in the level of student satisfaction on the quality of classes offered. (授業の質に関して、学生の満足度を向上。)	→The level of student satisfaction surveyed every quarter (score on Q.13; "Overall, you are satisfied with the course, and recommend it to your fellow students," averaged over all classes). (クォーター毎の学生の満足度調査(Q13の「コースに満足しているか、知り合いに勧めるか」のスコア、全クラスの平均))	B
3. Increase in the number of full-time tenured faculty members. (任期の定めのない専任教員の数を増やす。)	→% of full-time tenured faculty members over allocated positions (6). (IMC教員の定員枠に対する任期の定めのない専任教員の比率。)	C
4. Promote research by acquiring the out-of-university research fund. 外部研究資金の確保による研究推進	→Increase 1.5 times of out-of-university research fund. 外部研究資金の金額を1.5倍に増加させる	C

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
	→	☆
	→	☆

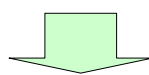
《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

★ 小項目4.0.1	(現状説明) 専任教員は教育課程上必要とされる数を満たしている。 企業経営に関するトピックスは幅広く時々刻々変化しており、それらをカバーするため実務家教員をバランスよく配置している。 全ての教員は分野の専門家であり、学生からも高い評価を受けている。
★ 小項目4.0.2	(現状説明) 教員の任用、昇進の規則があり、また人事委員会で厳格に業績、能力を審査をしている。 詳細な審査には複数の教員が関わる等、公正さにも配慮している。 過去の教育実績、研究実績について具体的な書物や論文、報告書等で提出を求め、それに基づき専門の近い教員が評価している。 担当授業の決定は教務学生委員・副委員を中心に専攻会議とカリキュラム委員会を通じての全教員が参加して行う。
★ 小項目4.0.3	(現状説明) 標準時間数を超過した場合も適切な範囲にとどめている。 ただ、教員ごとに若干のばらつきがある。 教員の教育や研究に対する事務の支援が整備されているが、技術的支援(補助研究者等)が手薄なのは否めない。
★ 小項目4.0.4	(現状説明) 当研究科の特性として、理論と実務双方の知識が教員に要請され、教材にも直ちに反映する必要がある。 そのため、教員は先端的知識の吸収に努め、企業家、産業界との太いパイプを有している。 学生サイドからの相談は多く教員は授業外でも多くの時間を使って対応している。
★ その他	

◎効果が上がっている事項

【点検・評価 (1)】効果が上がっている事項

小項目4.0.1	
小項目4.0.2	
★ 小項目4.0.3	研究科長、専攻コンビーナー、専攻教務学生委員によるIMC任期制教員への海外での学会報告のための奨励・支援。
小項目4.0.4	競争的外部資金の獲得のために、成功者による講習会を行った。
その他	



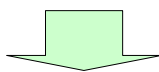
【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

小項目4.0.1	
小項目4.0.2	
★ 小項目4.0.3	引き続き、奨励・支援を強化する。
小項目4.0.4	引き続き、講習会を強化する。
その他	

◎改善すべき事項

【点検・評価 (2)】改善すべき事項

小項目4.0.1	
小項目4.0.2	
★ 小項目4.0.3	教員に対する技術的なサポートをするスタッフ層が弱い。
小項目4.0.4	梅田キャンパスに学生と教員、あるいは教員間で会議等をするスペースが少ない。
その他	



【次年度に向けた方策(2)】改善方策

小項目4.0.1	
小項目4.0.2	
★ 小項目4.0.3	外部競争資金の獲得による補充。
小項目4.0.4	教室やミーティングルームの柔軟な活用を梅田キャンパスの責任者と調整する。
その他	

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】

★ その他
(自由記述)

Ⅲ. 学内第三者評価

＜評価推進委員会からの評価＞（実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室）

- 具体的かつ適切に評価されています。
- 教員は41歳～50歳が43.9%を占めており、年齢構成にやや偏りがあります。新規の教員任用にあたっては留意されることが望まれます。
- 2009年度に設定した目標に具体的な数値も盛り込み、進捗評価も改善もより具体的に進められることを期待します。
- 2009年度の分野別認証評価において課題が示されています。対応はいかがでしょうか。

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

★ 5年先、10年先の教員の年齢構成予測情報を新規採用時に活用する。